

「活用不能空き家にならないための啓発活動」

【1. 活動趣旨】

「手遅れ空き家の対応からの脱却」

【2. 理由】

空き家となる**前の段階**、また空き家になった**初期のうち**に適正な空き家管理の必要性を地域の意識として根付かせる。所有者はもちろん、地域に対して「空き家放置が活用不能空き家発生の原因」であり、その結果、特定空き家となるということ、また、特定空き家は**個人の問題ではなく、自治会等地域(エリア)**における負の財産になるということを感じさせる必要がある。

【3. 対象】

空き家予備軍所有者、自治会役員、社会福祉法人等

【4. 活動内容】

・セミナー開催

空き家管理の基礎（なぜ管理が必要なのか）
家族で話し合う将来の相続
認知症への備え
家族信託等の活用

・セミナーライブ配信

・わかりやすい動画を作成、セミナーで使用

・セミナーを通じて「**地域のキーマン**」を育成、地域単位で危機意識の定着を促す。

【5. 効果】

空き家が活用不能になる前の事前の対策を啓発していくことが、将来の特定空き家発生の予防につながるとともにエリア(地域)の価値減少の歯止めが期待できる。

【6. 課題】

1. 対象エリア(自治会等)の選定(県空家等対策推進協議会と連携)
2. 継続的な活動がカギとなる。単発的な活動では効果は望めない。